

6割以上が復興財源のための増税に対し一定の理解も…

# 政府保有株の売却やバラマキ政策の廃止が先決

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の173社。2位が「取引条件の悪化」の60社。「原材料価格の上昇」が58社で3位。
- ★ 「今年度に入ってから設備投資」について、68.8%（159社）が「しない」と回答。「した」との回答が21.2%（49社）、「今後する予定」が10.0%（23社）と、3割強が設備投資を実施もしくは予定。
- ★ 「現在の雇用人員」について、78.6%（180社）が「適正」と回答。「不足」が15.3%（35社）で、「過剰」が6.1%（14社）と、前回に比べ「過剰」が減り「不足」が増えた。

平成23年7～9月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成23年10月に実施した第86回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が86回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は235社（小売業65社、卸売業32社、製造業35社、建設業56社、運輸・交通業15社、観光・サービス業32社）で回収率は47.0%。

## 【概況】

今期（7～9月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲25.8と、3ヶ月前の前回調査▲40.4から14.6ポイント改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の0.9%、「やや好転」が14.8%で、逆に「やや悪化」が31.9%、「かなり悪化」が9.6%だった。同様に、売上D.Iも10.6ポイント改善して▲24.6。採算D.Iについても12.4ポイント改善して▲33.8。原材料（商品）仕入価格は31.2から30.5とほぼ横ばい。

今回事業所に対し、「東日本大震災からの復興財源のための増税」について尋ねたところ、「賛成」と回答した事業所はわずか1.3%（3社）ではあるが、「やむを得ない」（59.8%（137社））と回答した「消極意見」まで含めると、6割以上が増税に対し、一定の理解を示している。

しかしながら、「東日本大震災からの復興財源の確保として、有効なもの？」については、「政府保有株の売却」が28.1%（61社）で最も多く、続いて、「子ども手当、農家の戸別所得補償、高校の授業料無料化の廃止」が21.7%（47社）とこの2項目で約5割を占めた。逆に、「増税」と回答したのは、「消費税の増税」17.1%（37社）、「法人税の増税」3.2%（7社）、「所得税の増税」4.1%（9社）を合わせても24.4%にすぎず、復興財源のための増税に対し理解を示す一方、増税が必ずしも有効な手段だと考えていない結果となった。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

**業況**は、全業種合計で今期▲25.8。業種別では、改善幅に差があるものの卸売業を除く5業種で改善。建設業▲47.4→▲21.8、運輸・交通業▲64.3→▲28.6、▲42.9→▲20.0と3業種で大幅改善をしているが、季節的要因や震災からの回復基調が影響しているものと思われる。

**売上**は、全業種合計で今期▲24.6。業種別では、製造業を除く5業種で改善。改善と回答した事業所41社のうち、16社が「季節的な増加」と回答し、12社が「企業（経営）努力」と回答。

**原材料（商品）仕入価格**は、全業種合計で今期30.5。業種ごとに上下はあるが、全体的には、ほぼ横ばい。引き続き、高値で推移していると思われる。

**採算**は、全業種合計で今期▲33.8。業種別では、売上同様、製造業を除く5業種で改善。改善と回答した事業所23社のうち、当然のことながら18社が「売上の増加」を挙げた。逆に、悪化と回答したうちの7割が「売上の減少」を挙げたが、2割近くの17.7%が「売上単価の低下」を挙げており、価格競争の激化が採算に影響を与えている一面も伺える。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



【現在の雇用人員をどのようにお考えですか？】



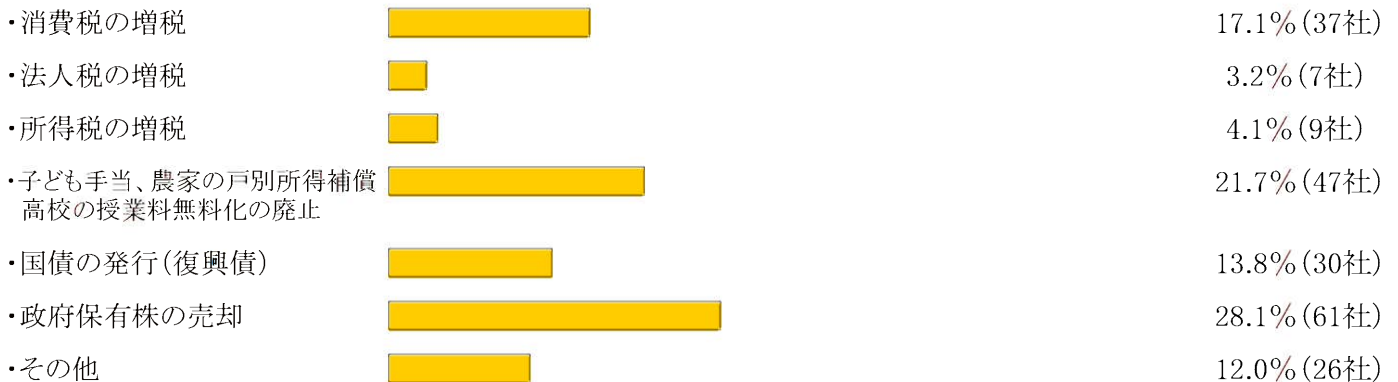
【今年度に入って何らかの設備投資をされましたか？】



【東日本大震災からの復興財源のための増税についてどう思われますか？】



【東日本大震災からの復興財源の確保として、有効的なものは？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 25.8	▲ 22.6
小売業	▲ 34.4	▲ 26.7
卸売業	▲ 18.8	▲ 12.5
製造業	▲ 26.5	▲ 14.7
建設業	▲ 21.8	▲ 9.3
運輸・交通	▲ 28.6	▲ 21.4
サービス業	▲ 20.0	▲ 63.0

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 24.6	▲ 24.4
小売業	▲ 34.4	▲ 19.0
卸売業	▲ 9.4	▲ 9.4
製造業	▲ 28.6	▲ 14.3
建設業	▲ 23.2	▲ 20.4
運輸・交通	▲ 7.1	▲ 35.7
サービス業	▲ 25.8	▲ 67.9

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

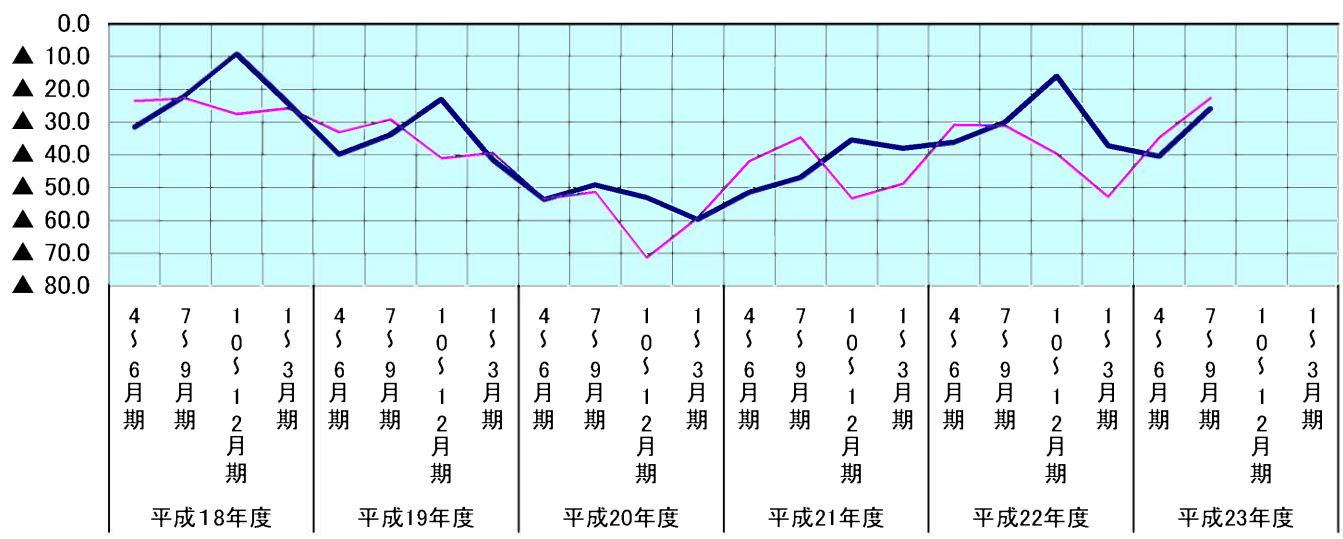
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 33.8	▲ 33.0
小売業	▲ 44.4	▲ 31.0
卸売業	▲ 28.1	▲ 34.4
製造業	▲ 28.6	▲ 17.1
建設業	▲ 25.0	▲ 34.5
運輸・交通	▲ 28.6	▲ 35.7
サービス業	▲ 41.9	▲ 51.9

(好転割合－悪化割合)

# 全業種

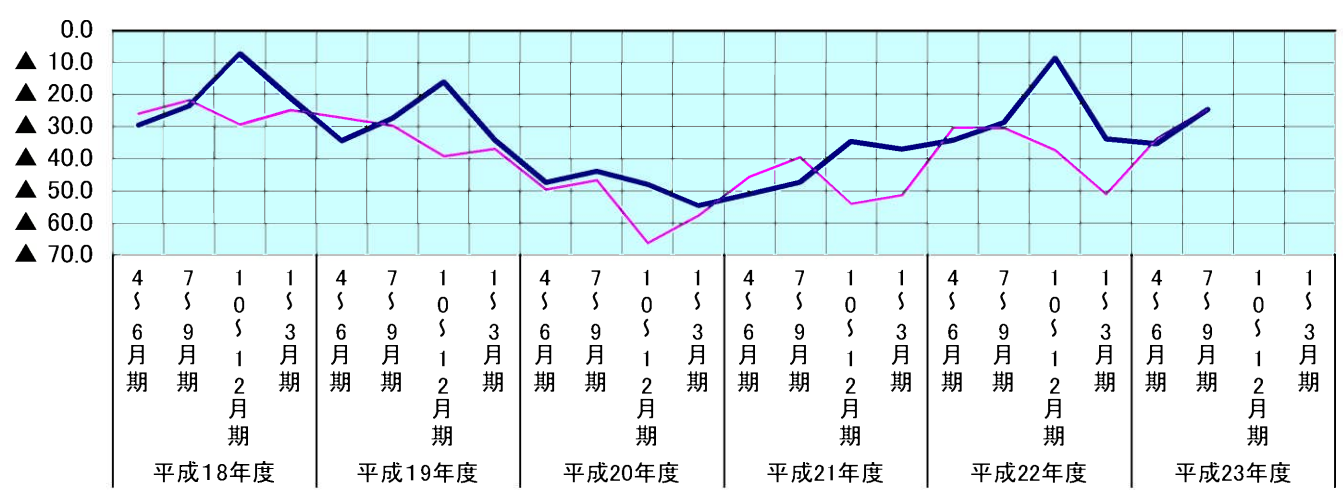
## 業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



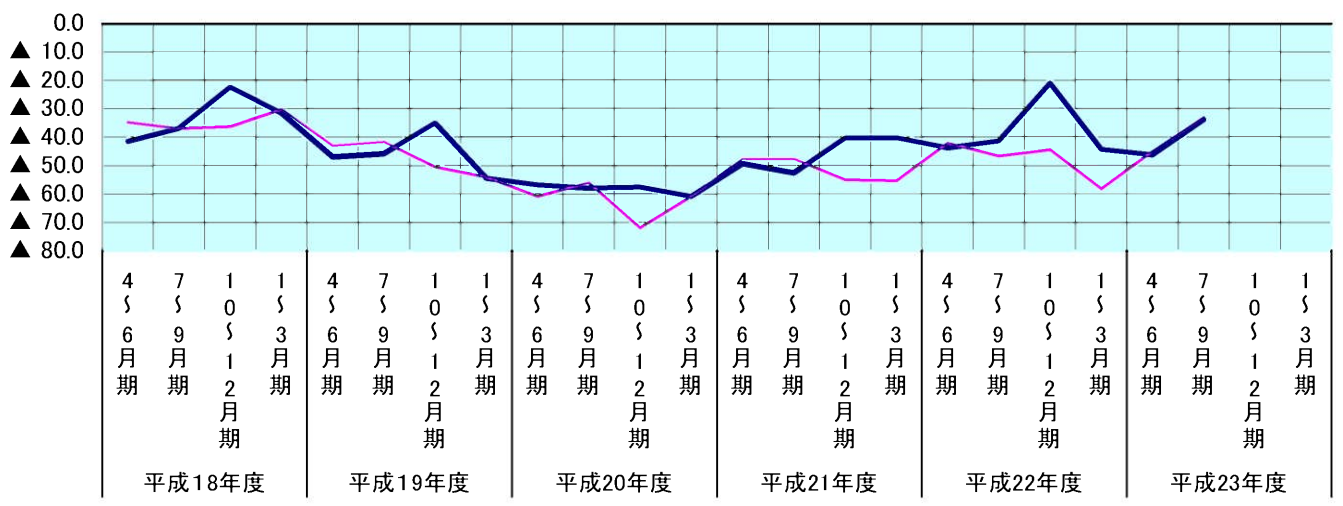
## 売上D.I.の推移

前期比 来期見通し








































## 採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通 し			
卸 売 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通 し			
建 設 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	7月～9月 実 績			
	10月～12月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い